

講師のプロフィール

かやのしろう 萱野 志朗



1958年4月北海道沙流郡平取町二風谷で生まれた。「萱野茂二風谷アイヌ資料館」館長。
1981年3月亜細亜大学法学部を卒業。大手広告会社へ勤務ののち1988年1月より平取町二風谷アイヌ語教室事務局員、1992年より同教室事務局長。1990年9月、佛光大学・通信教育部の博物館学芸員課程を修了し、学芸員の資格を取得。

1992年4月より「萱野茂二風谷アイヌ資料館」副館長・学芸員を兼務しながら1994年11月から1998年1月まで参議院議員萱野茂の公設秘書(第二秘書)を務めた。2006年4月1日から現職。2000年4月から2006年3月まで、平取町二風谷アイヌ語教室・子どもの部の講師を務めた。

2001年4月から2004年3月31日まで国立民族学博物館(大阪府吹田市)の国内資料調査委員。1993年4月から財団法人アイヌ無形文化伝承保存会の評議員。2007年4月1日より財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の評議員及び北海道大学アイヌ・先住民研究センター運営委員会の委員を務めている。

<著書>

『北海道の諸職』諸職関係民俗文化財調査報告書
(1993年3月31日、北海道教育委員会) <アイヌ関係を執筆>

<編著>

①『やさしいアイヌ語(1)』述=萱野茂(1989年3月31日、平取町二風谷アイヌ語教室)

②『やさしいアイヌ語(2)』述=萱野茂(1990年3月31日、平取町二風谷アイヌ語教室)

③『やさしいアイヌ語(3)』述=萱野茂(1993年1月31日、平取町二風谷アイヌ語教室)

<共著>

『First Fish First People』(1998年9月 ワシントン大学出版局)

協力者の紹介

おおのてつひと
大野 徹 人

エフエム二風谷放送(FMピパウシ)スタッフ。テキスト作成にあたって助言。

かやのともこ
萱野 知 子

平取町二風谷アイヌ語教室事務局員。

かわかみまさし
川上 将 史

エフエム二風谷放送(FMピパウシ)スタッフ。

【このテキストのアイヌ語と表記の仕方について】

現在のところアイヌ語には共通語というものはなく、それぞれの地域でそれぞれの方言が学ばれています。そのため、このテキストでは担当講師の方言(二風谷の方言)をベースにしています。

【二風谷アイヌ語教室の活動について】

平取町二風谷アイヌ語教室では、「子どもの部」と「アイヌ語演習(ゼミ)」は二風谷生活館で、「成人の部」は二風谷子ども図書館(私立)で開設しています。「子どもの部のコース」は月2回(第2・第4土曜の午前10時～)講義や野外実習・ゲームなどを取り入れて学習しています。対象者は小学1年生から中学3年生までです。「成人の部のコース」は、月2回(第2・第4日曜の午後7時～)講義を中心として会話や口承文芸を学習しています。対象者は大人(高校生以上)です。「アイヌ語演習(ゼミ)コース」は、年間9回(4月・8月・12月を除く毎月第3金曜日の午後7時～)参加者が輪番でアイヌ語文法について報告を行い、参加者同士で切磋琢磨しアイヌ語文法の理解を深めていきます。このコースの参加条件はアイヌ語文法に関する報告が出来る人となります。

問い合わせ先:二風谷子ども図書館 TEL 01457-2-3368

アイヌ語ラジオ講座のスケジュール表

月	日	LESSON	テ - マ	ページ
10月	7日	28	季節の表現(2)	4
	14日	29	季節の表現(3)	6
	21日	30	季節の表現(4)	8
	28日	31	時制の表現(1) - 現在形について -	10
11月	4日	32	時制の表現(2) - 過去形について -	12
	11日	33	時制の表現(3) - 未来形 -	14
	18日	34	時制の表現(4) - アを使った過去形 -	16
	25日	35	動きを表す言葉(動詞)の複数形(1)	18
12月	2日	36	動きを表す言葉(動詞)の複数形(2)	20
	9日	37	動きを表す言葉(動詞)の複数形(3)	22
	16日	38	動きを表す言葉(動詞)の複数形(4)	24
	23日	39	助動詞 ルスイ(～したい)	26
	30日	40	反復を表す ランケ	28

例文

1 シリマタ sir-mata (冬になる。)

2 ウパシキキリ ア・ヌカラ ワ シネチュブ ネ コロ ソンノ ウパシ アシ ペ
upas-kikir a=nukar wa sine-cup ne kor sonno upas as pe
雪虫 私たち・見る して 1か月 なる すると 本当 雪 降る もの
(雪虫が見えてから1か月すると本当の雪が降るものだよ。)

3 オオオオ ヌカラン (ヌカラ ヤン) ヌカラン ウカ カ ペカ ユク
o o o o nukar yan (nukar yan) nukar yan uka ka peka yuk
あれ〃〃〃 見なさい 見なさい 堅雪 上 ~を 鹿

ホユプ ペ ラウオシマ ランケ ラウオシマ ランケ コロ アン ナ
hoyupu pe rawosma ranke rawosma ranke kor an na
走る もの ぬかる する ぬかる する ~しながら いる よ
(あれあれあれあれ、見なさい見なさい、堅雪の上を鹿が走ったのにぬかりぬかりしているよ。)

単語

Table with 3 columns: アイヌ語, 日本語訳, 品詞. Contains 20 items such as 私、私たち, 人称接辞; 降る、吹く, 自動詞; ある、いる, 自動詞; etc.

Table with 3 columns: アイヌ語, 日本語訳, 品詞. Contains items like ラウオシマ, ぬかる、飛び込む, 自動詞; ランケ, (繰返し、ときどき、毎日) ~する、~したい <反復を表す>, 助動詞; ワ, ~して、~ので, 接続助詞.

アイヌ語の解説

「シリマタ」(sir-mata)は完全動詞で、これ一言で「冬になる」と言い表すことができます。秋田地方で狩猟を行っている人たちを「マタギ」と言いますが、アイヌ語では「マタンキ」(matanki)= 狐、と言います。日本語の濁音が発音しにくい場合は、濁音を清音に変えてその前に「ン」を入れて、借用語にしている例があります。したがって、「マタギ」も「マタンキ」と発音しやすい形に変えたのかもしれませんが。

MEMO

Handwriting practice area with multiple horizontal dashed lines for text entry.

アイヌ文化の紹介 section featuring a map of Hokkaido, the title 'アイヌのなぞなぞ28', and a riddle: 'ペトク タ オハムピラサプ ヘマンタ ネ ヤー. (川の源に葉を広げているものなあに)'. Answer: ウバユリ = ドレフ. * 葉が広いので.

『萱野茂のアイヌ語辞典』(増補版、2002年10月10日、萱野茂著、三省堂)付録より転載。筆者注: 「ド」は「トウ」と読みます。

例文

- 1 シリパイカラ
sir-paykar (春になる。)
- 2 シリパイカラ コロ ウパシ ル
sir-paykar kor upas ru (春になると雪が融ける。)
- 3 クナウ ペ ドム ワ ア・プス アーペコロ アン カムイ
kunaw pe tum wa a=pusu apekor an kamuy
福寿草 雫 ~の中 から 私たち・掘る ように ある 神
- イコロ ア・エウンケライ
ikor a=eunkeray
宝刀 私・貰う
(フクジュソウの花の雫の中から掘り出したような神の宝刀を私は貰った。)

単語

アイヌ語	日本語訳	品詞
ア＝	私、私たち	人称接辞
アン	ある、いる	自動詞
イコロ	宝刀、宝物	名詞
ウパシ	雪	名詞
エウンケライ	～をもらう、いただく	他動詞
クナウ	福寿草	名詞
コロ	～すると、～したなら	接続助詞
シリパイカラ	春になる	完全動詞
ドム	～の中	位置名詞
プス	～を掘る、掘り起こす	他動詞
ペ	雫	名詞
アペコロ	～した(している)かのように	接続助詞
ル	融(溶)ける	自動詞
ワ	～から	格助詞

アイヌ語の解説

まだ地面が凍っている頃、小川の近くで咲くのが福寿草です。アイヌ語では「クナウ」または「クナウノンノ」と言います。エソロカンニ(ミツバウツギ)の木の枝に福寿草の花を刺して、「枯れ木に花が咲いた」と言いながら遊ぶ、「春先の遊び」があります。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....


.....

.....

.....

.....

アイヌ文化の紹介



アイヌのなぞなぞ 29

イワン コタン カマ レキヒ スイエ プ
ヘマンタ ネ ヤー。
(六つの村を越えてひげをなびかせるものなにあ)

答え：木に削った幣束 = キケパラセイナウ。

【萱野茂のアイヌ語辞典】(増補版、2002年10月10日、萱野茂著、三省堂)付録より転載。

例文

1 タント ユーパロ ウン カラパ(ク・アラパ)
 tanto Yuparo un k=arpa (ku=arpa)
 *現在の夕張市 (今日、私は夕張へ行きます。)

2 タント シコツ ウン 太郎 アラパ
 tanto Sikot un TARO arpa
 *現在の千歳市 (今日、太郎は千歳へ行きます。)

3 タント サッポロ ウン ク・コロ エカシ アラパ
 tanto Satporo un ku=kor ekasi arpa
 *現在の札幌市 (今日、私の祖父は札幌へ行きます。)

単語

アイヌ語	日本語訳	品詞
アラパ	行く、出発する	自動詞
ウン	～へ、～に	格助詞
エカシ	祖父、おじいさん	名詞
ク＝	私	人称接辞
コロ	～を持つ	他動詞
タント	今日	名詞


MEMO

アイヌ語の解説

動詞には必ず人称接辞が付きます。例えば、「私が行く」の場合は「ク・アラパ」で「カラパ」となり、「あなたが行く」の場合は「エ・アラパ」となり、「ク」や「エ」が人称接辞と呼ばれるものです。
 ただし、主語が三人称(彼、彼女、彼ら、彼女ら、太郎)の場合は人称接辞は付かず、動詞の原形のままです。

MEMO

アイヌ文化の紹介



アイヌのなぞなぞ 31

シクナク コロカ イワン ヌプリ カマ アブカシ ペ
 ヘマンタ ネ ヤー。
 (目が見えないくせに六つの山を越えて歩くものなあに)

答え: 雪輪 = テシマ。
 *雪輪(輪かんじき)は、目がないけれど人間が足に履き、野を越え山を越えて歩くので、こう言っている。

【萱野茂のアイヌ語辞典】(増補版、2002年10月10日、萱野茂著、三省堂)付録より転載。

例文

1 タント ユーパロ ウン カラパ(ク・アラパ)

tanto Yuparo un k=arpa (ku=arpa)

*現在の夕張市

(今日、私は夕張へ行きます。)

↓<過去形にすると>

ヌマン ユーパロ ウン カラパ(ク・アラパ)

numan Yuparo un k=arpa (ku=arpa)

(昨日、私は夕張へ行きました。)

2 タント シコツ ウン 太郎 アラパ

tanto Sikot un TARO arpa

*現在の千歳市

(今日、太郎は千歳へ行きます。)

↓<過去形にすると>

ホシキパ シコツ ウン 太郎 アラパ

hoski-pa Sikot un TARO arpa

(去年、太郎は千歳へ行きました。)

3 タント サッポロ ウン ク・コロ エカシ アラパ

tanto Satporo un ku=kor ekasi arpa

*現在の札幌市

(今日、私の祖父は札幌へ行きます。)

↓<過去形にすると>

ホシキチュブ サッポロ ウン ク・コロ エカシ アラパ

hoski-cup Satporo un ku=kor ekasi arpa

(先月、私の祖父は札幌へ行きました。)

単語

アイヌ語	日本語訳	品詞
アラパ	行く、出発する	自動詞
ウン	～へ、～に	格助詞
エカシ	祖父、おじいさん	名詞
ク＝	私	人称接辞
コロ	～を持つ	他動詞
タント	今日	名詞
チュブ	～か月、月	名詞
ヌマン	昨日	名詞
ホシキパ	去年、昨年	名詞
ホシキチュブ	先月	名詞

アイヌ語の解説

過去を表す場合は動詞が変化するのではなく、「昨日」(ヌマン)、「先月」(ホシキチュブ)、「去年・昨年」(ホシキパ)を付けることにより、過去を言い表すことができます。

MEMO

アイヌ文化の紹介

諺

アイヌのことわざ1

パシクル スシ コロ アプト アシ ペ ネ。

(鳥が水浴びすると雨が降る)

*天候に関することわざは多い。鳥はアイヌに吉凶を知らせてくれる鳥で、猟に山へ入ると、獲物の所在を教えてくれることもある。

『萱野茂のアイヌ語辞典』(増補版、2002年10月10日、萱野茂著、三省堂)付録より転載。

例文

1 タント ユーパロ ウン カラパ(ク・アラパ)
 tanto Yuparo un k=arpa (ku=arpa)
 *現在の夕張市 (今日、私は夕張へ行きます。)

↓<未来形にすると>

ニサッタ ユーパロ ウン カラパ(ク・アラパ)
 nisatta Yuparo un k=arpa (ku=arpa)
 (明日、私は夕張へ行きます。)

2 タント シコッ ウン 太郎 アラパ
 tanto Sikot un TARO arpa
 *現在の千歳市 (今日、太郎は千歳へ行きます。)

↓<未来形にすると>

ニサッタ オヌマン シコッ ウン 太郎 アラパ
 nisatta onuman Sikot un TARO arpa
 (明晩、太郎は千歳へ行きます。)

3 タント サップロ ウン ク・コロ エカシ アラパ
 tanto Satporo un ku=kor ekasi arpa
 *現在の札幌市 (今日、私の祖父は札幌へ行きます。)

↓<未来形にすると>

オヤパ サップロ ウン ク・コロ エカシ アラパ
 oya-pa Satporo un ku=kor ekasi arpa
 (来年、私の祖父は札幌へ行きます。)

単語

アイヌ語	日本語訳	品詞
アラパ	行く、出発する	自動詞
ウン	～へ、～に	格助詞
エカシ	祖父、おじいさん	名詞
オヌマン	晩、夕方	名詞
オヤパ	来年	名詞
ク＝	私	人称接辞
コロ	～を持つ	他動詞
タント	今日	名詞
ニサッタ	明日	名詞

アイヌ語の解説

未来を表す場合は動詞が変化するのではなく、「ニサッタ」(明日)、「ニサッタオヌマン」(明晩)、「オヤパ」(来年)を付けることにより、未来を言い表すことができます。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

アイヌ文化の紹介



ヘカッター カチリケ コロ アプト アシ ペ ネ。
 (子供らがはしゃぐと雨が降るものだ)

*子供たちが夜にはしゃぎ回ると次の日雨が降ると言われた。

『萱野茂のアイヌ語辞典』(増補版、2002年10月10日、萱野茂著、三省堂)付録より転載。

例文

1 アプト アシ ア コロカ シリメマンカ ソモ キ
 apto as a korka sir-meman-ka somo ki
 雨 降る (過去) けれど 涼しく も しない する
 <降った>
 (雨が降ったけれど、涼しくもなりもしない。)

2 イペ コロ アン ア コロカ ネユン カ アラパ ワ イサム
 ipe kor an a korka neyun ka arpa wa isam
 食べる しつつ いる (過去) けれど なぜ か 行く して いない
 <いた>
 (食べていたけれどもどこかへ行ってしまった。)

単語

アイヌ語	日本語訳	品詞
ア	～(し)た	助動詞
アシ	降る、吹く	自動詞
アプト	雨	名詞
アラパ	行く、出発する	自動詞
アン	いる、ある	自動詞
イサム	ない、いない、なくなる	自動詞
イペ	食べる	自動詞
カ	～も、～までも	副助詞
コロ	～しつつ、～しながら	接続助詞
コロカ	～したが、～したけれども	接続助詞
シリメマン	涼しい	完全動詞
ソモ	しない	副詞
キ	～をする	他動詞
ネユン	なぜ、どう、どこかへ	不定副詞
ワ	～して、～ので	接続助詞


MEMO

アイヌ語の解説

過去形の表現には、「ヌマン」(昨日)、ホシキチュプ(先月)、ホシキパ(昨年)を含んだ過去形と「ア」という助動詞を使った「完了」や「過去」を表す場合の二種類があります。

MEMO

アイヌ文化の紹介



アイヌのことわざ3

クンネ カッコク ハウ アシ コロ ポロワッカ アン
 ペ ネ.
 (夜にカッコウ鳥が声を出すと洪水の兆し)

*カッコウは夜めったに声を出さないが、たまにはあったのでしょう。

【萱野茂のアイヌ語辞典】(増補版、2002年10月10日、萱野茂著、三省堂)付録より転載。

例文

1 花子 サッポロ ウン アラパ <単数>
HANAKO Satporo un arpa

(花子は札幌へ行きます。)

↓(複数形にすると)

アシクネン サッポロ ウン パイエ <複数>
asiknen Satporo un paye

(5人で札幌へ行きます。)

2 花子 ニプタイ ワ エク <単数>
HANAKO NIPUTAY wa ek

(花子は二風谷にふたにから来ました。)

↓(複数形にすると)

イワニュー ニプタイ ワ アラキ <複数>
iwaniw NIPUTAY wa arki

(6人で二風谷にふたにから来ました。)

単語

アイヌ語	日本語訳	品詞
アシクネン	5人	名詞
アラキ	来る(エクの複数形)	自動詞
アラパ	行く、出発する	自動詞
イワニュー	6人	名詞
ウン	～へ、～に	格助詞
エク	来る	自動詞
パイェ	行く、出発する(アラパの複数形)	自動詞
ワ	～から	格助詞

MEMO

アイヌ語の解説

1人で行く場合は「アラパ」ですが、5人以上で行くと「パイェ」となり、1人で来る場合は「エク」ですが、5人以上で来ると「アラキ」と複数形になります。2～4人で行った場合や来た場合には、単数の「アラパ」や「エク」が使われます。4人以下の場合で人数が特定されている時は、単数形が使われます。

MEMO

アイヌ文化の紹介

諺

アイヌのことわざ4

ポロワッカ アコイペ シリズム アコイペ エアイカプ
ペネ。

(大洪水は少しは食べ物が残るけれども、かんばつ早魃の場合は食べ物が残らないものだ)

*アイヌの村は川から見て高い所にある。100年昔の沙流川のアイヌの村も14か所全部高い所にあつて洪水にも家は流されないが、畑は川の近くにあった。
早魃は地形に関係なく作物は全滅。

『萱野茂のアイヌ語辞典』(増補版、2002年10月10日、萱野茂著、三省堂)付録より転載。

例文

「原子力発電所 アナクネ オコッコアペ セコロ アイェ」
 GENSIRYOKUHATUDENSHO anakne okokko-ape sekor a=ye

萱野 茂 ニシパ セコロ ハウエアン
 KAYANO SHIGERU nispa sekor hawe-an

(萱野茂さんは「原子力発電所は<悪魔の火>と呼ぶ」と言いました。)

↓(複数形にすると)

「原子力発電所 アナクネ オコッコアペ セコロ アイェ」
 GENSIRYOKUHATUDENSHO anakne okokko-ape sekor a=ye

インネ ニシパ セコロ ハウエオカ
 inne nispa sekor hawe-oka

(大勢の人たちが、「原子力発電所は<悪魔の火>と呼ぶ」と言いました。)

単語

アイヌ語	日本語訳	品詞
ア=	私、私たち	人称接辞
アナクネ	～は	副助詞
アペ	火	名詞
イエ	言う、話す	他動詞
インネ	(人や家が)多い、大勢	自動詞
オコッコ	化け物、亡霊、妖怪	名詞
セコロ	～と	副助詞
ニシパ	紳士、人徳のある人、裕福で身分が高い男性、金持ち、男子の尊称	名詞
ハウエアン	言う	自動詞
ハウエオカ	言う(ハウエアンの複数形)	自動詞


MEMO

アイヌ語の解説

1人である事を行った場合は「ハウエアン」ですが、2人以上である事を行った場合は「ハウエオカ」となります。
 「ク・コタヌフ ピラウトウル セコロ ア・イエ」で「私の村は平取と言います」となります。したがって、「セコロ ア・イエ」で「～と言う、～と呼ぶ」という意味になります。

MEMO

アイヌ文化の紹介



アイヌのことわざ5

チュプチセ アン コロ アプト アシ ペ ネ。
 (月に曇がかかると雨が降るものだ)

*曇の中に星がひとつ見えると1日後に、ふたつ見えると2日後に雨、というものであった。

『萱野茂のアイヌ語辞典』(増補版、2002年10月10日、萱野茂著、三省堂)付録より転載。

例 文

- 1 キムンカムイ アイヌ ライケ ヤク ア・イエ
kimunkamuy aynu rayke yak a=ye

(クマが人間を殺した。)

↓(複数形にすると)

- キムンカムイ アイヌ レン カ ロンヌ
kimunkamuy aynu ren ka ronnu

(クマが3人も人を殺した。)

- 2 アコロ イタク エ・エラマン ヤー
a=kor itak e=eraman ya

(あなたは、アイヌ語がわかりますか。)

↓(複数形にすると)

- アカロ イタク エチ・エラムオカ ヤー
a=kor itak eci=eramuoka ya

(あなたたちは、アイヌ語がわかりますか。)

単 語

アイヌ語	日本語訳	品詞
ア=	(不特定の)人	人称接辞
アイヌ	人間、人(神に対しての人間)	名詞
イタク	言葉	名詞
イエ	言う、話す	他動詞
エ=	あなた、君	人称接辞
エチ=	あなたたち、君たち	人称接辞
エラマン	わかる、理解する、覚える	他動詞
エラムオカ	わかる、理解する、覚える(エラマンの複数形)	他動詞
カ	〜も、〜までも	副助詞
キムンカムイ	クマ	名詞
コロ	〜を持つ	他動詞
ヤ	〜か	終助詞
ヤク	〜だそう、〜という	接続助詞
ライケ	〜を殺す	他動詞
レン	3人	名詞
ロンヌ	〜を殺す(ライケの複数形)	他動詞

アイヌ語の解説

「ライケ」(殺す)の複数形は「ロンヌ」で、「エラマン」(わかる)の複数形は「エラムオカ」です。アイヌ語の動詞には複数形のあるものがいくつかあります。この二つはその例です。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

アイヌ文化の紹介



サク ポン ナイ アサム タ トポンラ アン コロ
ポロワッカ アン ペ ネ。

(夏に小沢の底に水苔が異常に発生すると洪水がある)

*しばしば雨が降ると水苔が発生しないものだが、水苔があることは雨不足で降り出したら洪水になるとか。

【萱野茂のアイヌ語辞典】(増補版、2002年10月10日、萱野茂著、三省堂)付録より転載。

例 文

- 1 太郎 コタンコロクル コロ チセ オルン アフン ルウエ ネ
TARO kotankorkur kor cise or un ahun ruwe ne
(太郎は村長^{むらおさ}の家へ入ったようだ。)

↓(複数形にすると)

- インネ ワ コタンコロクル コロ チセ オルン アフプ ルウエ ネ
inne wa kotankorkur kor cise or un ahup ruwe ne
(大勢の人が村長^{むらおさ}の家へ入ったようだ。)

- 2 オキクルミ カムイ トイカ オラン

- Okikurmi kamuy toyka oran
(オキクルミカムイが大地へ降臨された。)

↓(複数形にすると)

- アノミ カムイ トイカ オラプ
a=nomi kamuy toyka orap
(祭られている神が大地へ降臨された。)

単 語

アイヌ語	日本語訳	品詞
アフン	入る	自動詞
アフプ	入る(アフンの複数形)	自動詞
インネ	人数が多い	自動詞
ウン	～にある、いる	格助詞
オキクルミ	アイヌに生活文化を教えた神の名	固有名詞
オラン	～へ降りる	他動詞
オラプ	～へ降りる(オランの複数形)	他動詞
オロ	～の所、～の中	形式名詞
コタンコロクル	村長	名詞
コロ	～を持つ、～を所有する	他動詞
チセ	家	名詞
トイカ	地面	名詞
ネ	～である	デアル動詞
ノミ	～を祭る、～に祈る	他動詞
ルウエ	～(し)た、～だ	形式名詞

アイヌ語の解説

「アフン」(入る)と「オラン」(降臨する)の複数形は、「アフプ」と「オラプ」となります。

人を家に招き入れる際には一人のお客さんに対して「アフプ ヤン」(お入りなさい)と使います。複数形は丁寧な表現としても使われる事があります。

MEMO

アイヌ文化の紹介



ポン ナイ ルップニ コロ ポロワッカ アン ペ ネ。

(小沢が凍っておとなの握りこぶしのような氷の瘤があると、その年は洪水があるものだ)

*北海道の1月は寒いもので、父と一緒に小沢の中を歩いた時に聞かされたものであった。

『萱野茂のアイヌ語辞典』(増補版、2002年10月10日、萱野茂著、三省堂)付録より転載。

例文

1 ワッカ ク・ク ルスイ
wakka ku=ku rusuy (私は水を飲みたい。)

2 ポロンノ イチェン ク・コン ルスイ
poronno icen ku=kor rusuy (私はたくさんのお金が欲しい。)

3 マレーシア モシリ ウン カラパ(ク・アラパ) ルスイ
Mareisiya-mosir un k=arpa (ku=arpa) rusuy (私はマレーシアへ行きたい。)

4 ピリカ アトイサム ク・ヌカン ルスイ
pirka atuy-sam ku=nukar rusuy (私は美しい海岸を見たい。)

単語

アイヌ語	日本語訳	品詞
アトイ	海	名詞
アラパ	行く、出発する	自動詞
イチェン	お金、貨幣	名詞
ウン	〜へ、〜に	格助詞
ク＝	私	人称接辞
ク	〜を飲む	他動詞
コロ	〜を持つ、〜を所有する	他動詞
サム	〜の側、〜方	位置名詞
ヌカラ	〜を見る、〜が見える	他動詞
ピリカ	美しい、良い、きれい	自動詞
ポロンノ	たくさん	副詞
モシリ	静かな大地、国、国土、島	名詞
ルスイ	〜したい、〜しそうになる	助動詞
ワッカ	水	名詞

MEMO

アイヌ語の解説

「ビールが飲みたい」は「ビール ク・ク ルスイ」、「ゲームソフトが欲しい」時は「ゲームソフト ク・コン ルスイ」と使います。

「ルスイ」は「〜したい」と表現出来る便利な助動詞です。

MEMO

アイヌ文化の紹介



アイヌのことわざ8

ドン ネ ワ アベウナ・アン コロ シネン ヤイカオクイマ
シネン エトイ ペ ネ。

(ふたりで囲炉裏の火を埋めると、ひとりが寝小便たれになって、ひとりがはげ頭になるものだ)

*ふたりで火の始末をすると 万が一の場合に責任のなすりあいになる。だによって火を埋めるときにはひとりでするものだよ、との教えであろう。

『萱野茂のアイヌ語辞典』(増補版、2002年10月10日、萱野茂著、三省堂)付録より転載。
筆者注:「ド」は「トウ」と読みます。

例 文

1 イヨクペ シネブ パテク アン ナ ウウォカラパ ランケ ア・エイワンケ
iyokpe sinep patek an na uwokarpa ranke a=eiwanke

シネン ネプキ コロ シネン シニ オヌマン パクノ モセ・アン ロー
sinen nepki kor sinen sini onuman pakno mose=an ro
(鎌が1丁しかないので 交代しながら使って ひとり働くとひとりが休み夕方まで
カヤ刈りをしよう。)

2 ソンノ エ・サハ ドラ ウネノ エチ・オカイ ペ ネ クス シネン
sonno e=saha tura u-ne-no eci=okay pe ne kusu sinen

ランケ エチ・ヌカラ コロ ケランペウテク(ク・エランペウテク)
ranke eci=nukar kor k=erampewtek(ku=erampewtek)
(本当にお前の姉と似ているものだから ひとりずつ見ると私はわからなくなる。)

単 語

アイヌ語	日本語訳	品詞
ア＝	私、私たち	人称接辞
＝アン	私、私たち	人称接辞
アン	ある、いる、住む、～(に) なる	自動詞
イヨクペ	鎌	名詞
ウウォカラパ	代わるがわるする	自動詞
ウネノ	(二つ以上が) 似て、同じ	副詞
エ＝	お前、あんた、君	人称接辞
エチ＝	あなたたち	人称接辞
エイワンケ	～を使う、～を用いる	他動詞
エランペウテク	わからない、知らない	他動詞
オカイ	ある、いる、住む、～(に) なる (anの複数形)	自動詞
オヌマン	晩方、夕方	名詞
ク＝	私	人称接辞
クス	～するため	接続助詞
コロ	～すると、～したなら	接続助詞
サハ	姉	名詞
シニ	休む、休憩する	自動詞
シネブ	一、一つ	名詞
シネン	ひとり	名詞
ソンノ	本当に	副詞
ドラ	～と	後置副詞
ナ	よ、ぞ、～から(念をおす)	接続助詞
ヌカラ	～を見る、～が見える	他動詞


アイヌ語	日本語訳	品詞
ネ	～である	デアル動詞
ネプキ	働く、仕事をする / 仕事	自動詞 / 名詞
パクノ	～まで、～ぐらい、～ほど	後置副詞
パテク	それだけを、～だけ、～ばかり	後置副詞
ペ	～ものだ、～もの	形式名詞
モセ	カヤ刈りをする	自動詞
ランケ	(繰返し、ときどき、毎日) ～する、～しつつ(反復を表す)	助動詞
ロ	～しましょう	終助詞

アイヌ語の解説

2の例文は助動詞としての使用例ではなく、「シネンランケ」「ひとりずつ」という語句が入っているものです。ランケを含む例文としてご紹介しました。

MEMO

アイヌ文化の紹介



アイヌのことわざ9

トンチカマニ チヨロポク ア・クシテ ワ ア・ヌ オルシ
ペ ネ ハウエ ネ ワー。
(敷居の下をくぐらせてから聞かなければならない話であるようだ)

*アイヌ社会では見たり聞いたりしただけでも、運、不運につながる話があるものと考えられ、聞いただけでも不運になりそうなやな話を聞いた場合は、この話は敷居の下をくぐらせ浄化させてから聞かなければならないと、まじない言葉として言うものである。

【萱野茂のアイヌ語辞典】(増補版、2002年10月10日、萱野茂著、三省堂) 付録より転載。